

令和4年度第1回西淀川区区政会議

1 開催日時：令和4年7月26日（火）午後6時30分～午後8時05分

2 開催場所：西淀川区役所5階 会議室

3 出席者の氏名：

（委員：敬称略、50音順）

伊関、井上、植木、浦中、大垣、大西、岡本、香川、三本松、柴崎、菅野、砂川、
竹内、多田、中田、西川（奈）、西川（博）、長谷部、平井、藤江、藤田、藤浪、
山本、吉田、吉見

（事務局：西淀川区役所）

中島区長、難波副区長、奥本総務課長、西尾政策共創課長、近藤地域支援課長、
木村安全まちづくり担当課長、松本窓口サービス課長、貴志保健福祉課長、山城
生活支援担当課長、横内こども福祉担当課長、青木保健主幹

（府市会議員）

中川府議会議員、荒木市会議員、山田市会議員

4 議題

（1）令和3年度西淀川区運営方針の振り返りについて

（2）グループ討議「西淀川区制100周年記念（2025年）に向けて」

（3）その他

5 議事内容

○大垣議長

こんばんは。令和4年度の第1回の区政会議を進行させていただきます大垣ですけれども、よろしくお願いいたします。

それでは、事務局からのご説明、よろしくお願いいたします。

○西尾課長

こんばんは。政策共創課の西尾です。よろしくお願いいたします。

本日の会議は、現時点で25名の参加であり、定員27名の過半数を超えていることから、会議が成立していることを確認いたします。

次に、議事進行についてですが、議題は令和3年度西淀川区運営方針の振り返りについて、2、グループ討議「西淀川区制100周年記念（2025年）に向けて」、そして、3のその他を予定しております。区政会議実施状況につきましては、ホームページや広報紙などで報告いたしますので、会議のご様子を写真で撮らせていただきますので、ご了承のほどよろしくお願いいたします。

それでは、よろしくお願いいたします。

○大垣議長

それでは、議事に先立つ前に、区長からご挨拶をよろしくお願いいたします。

○中島区長

どうも、皆様、こんばんは。皆様におかれましては、区政及び市政にご協力、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。また、本日、お忙しい中、この会議にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

この区政会議でございますけれども、ちょうど私これ、やらせていただいて3年目でございます。それで、ここ2年間、グループ討議でどんなことを議論してきたかなというのを考えてみましたら、1つは、情報についてどういうふうに出していったらいいかというような、そんな話をさせていただいたこともございました。

それから、緑陰道路をどう魅力化していこうかと、皆さんの宝物ですね、そういうお話もさせていただきました。それから、今年の3月は環境美化に関することというような形を、グループ討議を中心にさせていただいたかなというようなところでございます。

それで、この情報提供におきまして、区内報の刷新をはじめ、LINEの新設、それから、今年8月には子どもWEBという、役所だけの情報じゃない、いろんなとこ

ろの情報を、区内でこんなところがありますよというようなウェブが立ち上がります。

また、緑陰道路の魅力化につきましては、今現在、区内の建設専門学校さんに企画設計をしていただいております。来年の1月頃に、西淀公園の横のところ、ちょうど緑陰道路が広いところがございますけども、そのところに憩いの場が誕生いたします。

そして、今年の3月に議論いただきました環境美化について、まだご提案してないですけども、近々ある程度まとまってくるかなと思いますので、またこの辺り、皆様に披露させていただきたいなと思っています。

このように考えますと、皆様からご議論いただいたことが、やっとここに来て実現をし出しているかなということがございます。

そして、今度迎えます2025年は、ちょうど大阪・関西万博の年であると同時に、西淀川区にとっても区制100周年の年でございます。本日は、この区制100周年に向けて、西淀川区はどうあるべきか、今から何をしていくかと、ぜひこの議論をしていただきたいなと思っています。

それから、一つ報告としまして、皆さんもご存じかと思いますが、区役所の体制として、役所だけで何でも考えるわけではなく、団体の皆様、あるいは企業の皆様と一緒に知恵を絞っていこうということで、共創、フォーリエーティブということを積極的に行っております。団体、それから企業の皆様からも、かなりご提案というのをいただいております。それで、今後は役所もクリエイティブ能力、この辺に磨きをかけ、今どちらかという提案あるいは連携にとどまっているものを、本当の意味での共創というような形にしていきたいと思いますので、また皆様からのご提案を待っております。

それでは、本日、どうぞよろしくお願いいたします。

○大垣議長

ありがとうございます。

それでは、次の議題、令和3年度の西淀川区運営方針の振り返りについてですけれども、手短に、すみませんが、説明をよろしくお願いします。

○西尾課長

ありがとうございます。いつも皆さんから区役所の話が長いと言われておりますので。

○大垣議長

そう。

○西尾課長

できるだけ手短にさせていただきたいと思います。

私から説明させていただくのは資料の2、A3の横の令和3年度運営方針、成果から見た自己評価でございます。参考につけていますこの運営方針からちょっとご説明させていただきますけれども、資料はこの資料2を見ていただいたらいいかと思っておりますので、よろしくお願いたします。

まず、資料2の上のところ、総括ということで、これは、先ほど区長から申しましたように、まだまだ区政情報の発信というのがなかなか皆さんに伝わっていないところがございます。ですから、イベント情報や区役所の取組に加えて、区民の必要とする情報を的確に皆さんに伝えようということで、広報紙の充実とかSNSの活用などで情報発信の充実・強化を図って、西淀川区の魅力の発信に努めていきたいと思っています。

下のところ、2番目で、多様化・細分化する地域住民のニーズに対応できるように、先ほども申し上げたように、やはり区役所だけではなかなか難しいものがございます。民間企業が有する資源、アイデアとかノウハウ、そういったことを一緒になってやっていきたいと思っています。そこで、西淀川区の企業の方とも地域の方とも、「共創」を合い言葉に推進していきたいと思っていますので、よろしくお願いたします。

そして、個別の、下の経営課題のところ、まず、未達成のところだけちょっと説明させていただきたいと思っています。

まず1点目、地域コミュニティの活性化とまちの魅力向上のところですね、人と人とのつながり促進と区内事業者との連携によるまちづくり支援、この2つが未達成となっています。これは、区民まつりや事業者との連携事業であるものづくりまつり、これの中止によりまして、参加者の意見を聞くということでしたが、祭りを開催しなかったものですから、参加者からの指標がなかったということで未達成となっております。

今後は、コロナ禍でも開催できるような、ものづくりまつりは予約制にするなど、密を避けるような状況でも開催できるような方法、もしくは地域の方や事業者の方と課題を共有しながら効果的な事業展開を検討していきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

そして、次の「子育て・教育」を応援するまちづくりの社会教育環境の充実でございます。これは何かと申しますと、社会教育環境の充実ということで、人権や生涯学習ですね、やはりそういった社会教育に関する周知がちょっと不足しているということをお願いしております。特に、これまで参加の少ない男性や若い子育て世代、こういったところに周知が不足していたのではないかなということをお役所では考えております。

このような、これまでに関わりの少ない人も含めて、幅広い分野を対象に、人権啓発推進員や生涯学習推進員さんと協働しながら、きっかけづくりの場の設定や、SNSを活用した広報に努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

続きまして、3つ目、安全で快適なまちづくりということで、災害の備えへの強化のところでございます。これは災害時の避難行動や避難場所の認知度ということですが、けれども、特に若年層が相対的に低いという結果となっております。若年層などターゲットを絞った防災イベントの企画や啓発ツールの作成など、より効果的な広報・啓発を行って、防災意識の浸透を図ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

その次の防犯の取組ですね、これは区による防犯の取組が犯罪の抑制に効果が高いと感じる区民の割合について、目標を80%としていましたが、78.4%と、ちょっと1.6%不足していました。これについても、やはり周知をもっとしていかないとけないと思いますので、高齢者だけではなくて、若い方に対しても周知を徹底していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

そして、4段目、誰もがいきいきと暮らせる温かいまちづくりについてですけれども、ここの要援護者の見守り体制の充実でございますが、これは見守りネット倶楽部のボランティアさんの総数を増やしていく必要があるということを考えておきまして、地域活動協議会では民生委員さんなどと各種団体とも連携して、見守り体制の仕組みの周知や啓発、これはやはりなかなか伝わっていないところもありますので、これも広報紙やホームページなどで、公募の手法なんかも、なかなか公募しているということが伝わってないよねというお声がありますので、そういったものを検討しながら、新たな担い手の掘り起こしにつなげていきたいという事を思っております。

そして、その下の在宅医療・介護の推進のところでございますが、これは地域学習会を開催するという事を目標にしておりましたので、コロナ禍で開催していなかったため未達成ということになっております。これも代替施策として、会議を開催するだけでなく、区民啓発のために作成した動画、DVDなど、もしくはもしばなカードなどを活用して、会議をしてなくても周知をできるような形で検討していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

そして、5つ目、信頼される区役所づくりの1点目、一番右の区政会議の有機的運営というところでございます。ここについても、各委員からの意見や要望、評価について、適切なフィードバックが行われたと感じる区民の割合というのが、目標の80%に対して1.7%足りなかったということでございます。ここは、我々も皆さんの意見を聞いて、すぐ改良したところは次の会議などで報告させていただいておりますけれども、以前に聞いたご要望なんかも、実は調整して、それを解決していただいておりますけ

ど、その辺のご周知っていうのができていなかったなととても思っております。ですから、過去にいただいた意見を、今、予算を取ってやったよっていうようなことも随時ご報告をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

そして、それだけじゃなくて、引き続き、会議の場だけではなくて、いろんなメールとか電話でも結構でございます。やはり皆さんと意見交換をさせていただいて、フィードバックも、ここは足らんよということがございましたら個別で対応させていただきたいと思っておりますので、ぜひとも、会議だけではなくて、その合間もいろんなご意見をいただいたらありがたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それと、最後でございます。信頼される区役所づくりの区民サービスの向上と効率的な区政運営については、これは区役所に対するサービスの格付結果で目標を、星を2つにしていたんですが、1つとなってしまいました。これは3月の区政会議に区長からも申し上げましたけれども、やはり区役所の管理職が一体となって、中心となって引き続き接遇マインドの向上に向け、取組、そしてPDCAサイクルを意識的に業務のなかで推進していくというようなこと、そして、職場環境、職場改善の研修とか、西淀川区の職員力向上基本プランがございます。こういったものの取組を実践しながら、事務レベルの底上げを区役所全体でやっていかないといけないということを非常に思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

申し訳ございません。これは資料2でございまして、資料3、4もそのまま説明させていただきます。

続きまして、資料3でございます。これは、区政会議の意見に対するその後の対応ということで、これは、先ほど申し上げたその後の対応のものでございます。

特に1番ですけれども、これは前回の3月にいただいて、公園や緑陰道路のイベントで、もしやりたいときにサポートしてくれるかということで、そのときの回答としては、サポートさせていただきますというお答えだったと思います。実際の対応ということで、共創事業の一つで、にしよど青空コンサートを7月17日に開催しました。

これは地下1階のサンクンガーデンで開催されましたが、今後は公園とか緑陰道路とか様々なところで、そこの許可の部署と区役所が話をさせていただいて、開催していると思っておりますので、そういう形で実際に動いたということです。皆さんもそういった事例がございましたら、私どももサポートさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

そして、2番、3番、4番も、これも3月にグループ討議でいただいた意見でございます。これらについても、やはりグループ討議で発表いただいた意見で、私どもはそれを受け取って、できるだけ実施させていただきたいということで、この3点、実施させていただいております。

5番は、令和2年11月にいただいたご意見で、これはパーテーションの件ですけれども、避難所スペースの確保やパーテーションの充実ということで、これもやはり予算の関係がございますので、年度、年度で予算を取りながら、少しずつ充実させていただいたということでございます。今日も皆さん、ご議論をいただきます「区制100周年」を受けて、いろんなアイデアが出てくると思います。それは私どもで受け止めさせていただいて、必ず施策に反映させていただきたいと思っていますので、いろいろとすぐできるものと長期的にかかることはございますけれども、できるだけ皆さんのお声を施策に反映させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それと、次の資料4でございます。これは今回、会議に当たって、意見をいただいたものでございます。吉田委員からいただいたものでございますが、これは学校選択制に対しましてのことです。これも事前に、会議の始まる前に吉田委員とやり取りさせていただいた部分でございますので、ご一読いただきますようお願いいたします。以上でございます。

○大垣議長

ただいまの説明について、ご意見、ご質問がありました方は挙手にてお願いいたし

ます。

発言の際には、初めにお名前をおっしゃってください。

どうぞ。

○香川副議長

ございません。

○大垣議長

そしたら、ご意見がないようですので、続きまして、議題2、委員の間の意見交換ということで、発表に移ります。

事務局から趣旨を説明してください。

○西尾課長

それでは、私から、グループ討議についてということで、資料5でございます。これから、今回のテーマ、区制100周年記念（2025年）に向けてということでグループ討議いただきますけれども、事前質問のときにも申し上げたように、何か提案等ございましたらおっしゃってくださいねっていうことを申ししていましたが、多田委員から提案したいということで、熱い思いをいただきましたので、多田委員、すみませんけれども、ご登壇いただき、ご説明いただけますでしょうか。

議長、副議長の方は、前のグループ討議のところに入っていただいたらありがたいです。

○多田委員

時間ない中、申し訳ないです。ちょっと発表させていただきます多田と申します。よろしく申し上げます。

区制100周年に向けた地域魅力発見の提案ということで発表させていただきますけれども、私、一応防災啓発活動を、自分のプロジェクトを立ち上げて、ここ3年間ずっと大阪のほうで西淀川を中心に行ってきたして、先ほども防災の啓発について、まだまだ未達成だねというところで話が出ていたと思いますけど、防災活動をずっとや

っていく上で思ったのは、やはりこういう地域の防災人材とか、防災にかかわらず地域の人材を増やして地域の力を高めていくためには、まずはやはり地域のことを知ってもらわなければいけないと。地域のことを知ってもらって、その魅力を感じてもらって、そこから初めて地域の課題を自分事に捉えて、地域をもっとよくしていこうっていう人たちが生まれる。いわゆる、最近はやりの言葉でいうところのシビックプライドということですけど、そういうことをしないといけないと思いつるようになりました。

ありがとうございます。

では、ここにも書かせていただきましたし、区長にも言っていたのですが、西淀川100周年は、2025年、大阪・関西万博と重なってまいります。こうなってくると、やっぱり万博に乗れない手はないと。万博に乗じて、西淀川について、まずは知っていったらいいようなイベントをたくさん開催したいなと思っております。それをどんどん発展させて、万博までそういうのを続けて行って、そういう下地を作ってから、初めて地域をもっとよくしていこうっていう動きが万博の後、生まれてくるのかなというような気がしてまして、ちょうどこの前、万博まであと1,000日を切りましたけれども、なかなか時間がないので、早速行動も始めたいなと私、思っております。

次、お願いします。

昨年、ここにおられる皆様も、ご協力していただいた方もたくさんおられます。ありがとうございます。我々が主催ということで、西淀公園でクラフト防災パークという防災イベントを開催させていただきました。3時間のイベントでしたが、一応、来場者200名以上ということで、非常に盛況でした。ありがとうございます。

これを、防災と銘打っていますが、言うたら、地域イベントということですけど、これを第2回以降、今年もというか今年度も、来年の2月末をめどに開催を目指しております。今、調整させていただいているところでございます。これを西淀川の区

民祭りに次ぐような名物イベントにしていきたいなと思っております。

今年度はちょっと新しい挑戦をしたいなと思ひまして。ありがとうございます。先ほども話出たと思ひますが、西淀公園にほど近く、緑陰道路ですね、緑陰道路を活用していく案もすばらしいと思ひますし、どんどん緑陰道路の活用の波に乗っかっていきたいなと個人的に思ひています。やっぱり修成の方もちゃんと設計してくださっていて、今、広場がすごくいい感じの空間に生まれ変わるということで、もしそれが間に合えば、イベント広場みたいな感じで、クラフト防災パークのサテライト会場としてそこを使えないかと。今後、防災って、やっぱり津波とかが来て、もし被害を受けてしまったときに、もっと内陸のほうに歩いて逃げなきゃいけないみたいな場面も今後出てくるであろうと思ひれます。やっぱりそういうときに、ちょっと「防災×スポーツ」というテーマで、サテライト会場みたいな感じでここを使わせていただけないかなと思ひております。これが超直近のやりたいことです。

また、その1点ではなくて、もっと多面的に西淀川の魅力を広めていきたいなということで、ここにロゲイニングというものを提案させていただきました。なかなか聞き慣れない言葉だと思ひますが、オリエンテーションに近いですが、参加者、チームで参加しますが、そこに地図が配られて、例えば西淀川のこことこことこことこことこを回ったら何ポイントみたいなことが書かれた地図が配られます。それを、チェックポイントを回って得点を集めていくという、これはスポーツで、オーストラリア発祥で、結構世界でも大会とかいろいろ開かれているようなものです。

本来、何かもうちょっと山の中とか自然豊かなところでやることらしいですけど、最近、都市型ロゲイニングということで、日本でもすごい開催実績が増えてきております。これは地域の魅力発信にもなって、非常にいい手法ですけど、最近、大阪市内でも大正区とか、今年、港区とかでもご当地ロゲイニングの開催がされているということでございます。例えば、目的地に行って、何か所定のものをしてくる。例えば写真撮ってとか、それを上げてもらってみたい、フォトロゲイニングなんかもすごい

種類が豊富なので、何かこういうのもちょっと西淀川でできないかなと思っております。

何でこんなことを言い出したかっていいますと、今年の春、ちょっと区内のいろんな団体、親子防災部さんとか、あおぞら財団さんとかと協力してもらって、西淀防災まち歩き企画っていうものを、第1回を4月にやらせていただきました。今後もそれをちょっと続けていきたいなと思っていて、そういうまち歩き企画を10月16日日曜日に第2回を今、企画しております。ぜひそこにもご参加いただきたいですけども、そういうのをちょっと発展させていって、緑陰道路もあるので、やっぱりもっと歩きたいな、スポーツみたいなのところを生かしながら、西淀川でこういう魅力を発信できるようなイベントをしていけたらいいかなと思っております。

それは緑陰道路とか、もっと言うと、矢倉緑地とか、まだ西淀の眠っている魅力を再発見するようなイベントにしたいですし、例えば、ここ最近、よく若年層、若者って、どこに遊びに行くかといったら、やっぱり川越えて梅田とか難波とか、そういうところに行っちゃうわけですけども、西淀川にもっと魅力ある場所が増えればええなと思っておりまして、私、友人とか、それこそ同世代の友人とかっていうのは、さっきのロゲイニングとか、謎解きツアーとか、大阪メトロがよくやっていますが、ああいうのに参加して楽しんでいます。やっぱりそういう中でよく行くのは、こういうリアル脱出ゲーム、実際こういう部屋の中で、謎を解いていって脱出を目指そうみたいなゲームがありますが、そういうのを西淀川でもできたらいいなと思っています。

私は一応、防災啓発を主としている人間なので、ここでの提案も、そういう防災を遊びながら学べるようなイベントとして、リアル脱出ゲームはどうかなと思っていますが、何か協力していただける方があったら、もっとほかのテーマとかでも、こういうイベントをやっていききたいなと思っています。いろいろな提案させてもらっていますが、要するに西淀に新しい遊び場ができると、西淀ですごす時間が増えるっていうことで、もっと区内でいろいろ活動するっていう選択肢が広がるかなと個人的に思

っています。

また、次に行ってもらって、最後ですが、一番何が言いたいかっていうと、そういうイベントを開催するのはもちろんですけど、そういうのを開催して、西淀の魅力を万博に向けて発信していくような新しい枠組みをつくれなかと、そういうことです。

万博まであと1,000日切りましたが、個人的にちょっと危惧していること、実はありまして、何となく最近の万博のニュースとかを、私も万博主催している博覧会協会さんの下、共創チャレンジという枠組みがありますが、そういうのに登録させてもらって、そういう万博に向けて、まちを盛り上げていこうみたいな活動をずっとしていますが、何か最近ちょっと下火じゃないかなと個人的に思っていて、何となくこのままだと、会場である夢洲だけ盛り上がって、ほかのまちにあんまり恩恵ないのではないのかなって、個人的にちょっと心配しています。

そういうことを行政に求めるだけじゃなくて、まず自分たちから動かないといけないなということで、やっぱりそういう万博を起爆剤に、西淀からどんどん魅力を発信していけるようなムーブメントをまず起こしたい。だから、そういうイベントとか魅力発信をするようなチームをつくって、それを共創チャレンジに登録して、万博に向けて盛り上げていきたい。最終的には、そういう西淀川全体が万博のサテライト会場みたいな、そういうイベントたちがサテライトイベントになるような、何かそういう盛り上げ方をしていきたいなと個人的に思っております。

そういうところがどんどん発展していったって、それこそ今も修成建設専門学校の方々にいわゆる緑陰道路をきれいにしてもらっていますけど、そういうのが、西淀って、イベントやったら人が来ると。これだけ外部からも人呼べるし、こんなに魅力いっぱいあるねんってということが分かって、こんなに人を動員できますよってということが分かったら、行く行くは、例えば、じゃあ、緑陰道路をもっときれいにできる場所を増やしていこうよとか、いやいや、矢倉をもっと魅力ある場所に変えていこうよみたいな動きが出てくるかもしれないですね。

ということで、まずは自分、私の提案だから、私のできるところからこういうことを始めていきたいなと思っているので、よろしければご協力をよろしくお願いいたします。ということで、以上とさせていただきます。

(拍手)

○西尾課長

多田さん、すてきな提案ありがとうございました。また、これ、この次のグループ討議でも、そういったものを含めながら、皆さん、グループ討議いただいたらと思います。

そして、もう1点、区制100周年に向けてということで、区長から提案といえますか、こういった課題ということをご説明させていただきたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

○中島区長

皆さんにご討議いただく前に、そうしたら、区役所はどういうことを考えているのかということがあるかと思しますので、ちょっと簡単に、お時間いただきまして、説明させていただきたいと思っております。

今現在、私、西淀川区の問題というのは何かなというのを考えますと、現状の年齢別人口からすると、今、西淀川区で、この話、結構いろんなところでしておりまして、もうお聞きやという人もあるかも分かりませんが、一番多い年齢層は今50歳ぐらいのところ。そこが1学年、大体1,700人ぐらいいらっしゃいます。そして、この間、成人式を迎えた二十歳の子、これが1,000人になってきます。そして、0歳児、生まれたばかりの子は600人になります。したがって、この人口推移からすると、今後どうなってくるかといいましたら、まさに高齢化が進行するよねと、それから人口が減少するよねという形が明らかかなというところでございます。大阪市におきましても、中心区はそういう傾向ではないですけども、周辺区におきましては軒並み同じような傾向でございます。

それで、人口が減ると悪いことばかりでもないですけど、やはり地域の活力は低下しますし、空き家も増加していく。それから、お店やっておられる方もやっぱりなかなか経営がしんどくなっていくよねということが起こってくるかなということがございます。そうすると、課題としては何が上がってくるかということで、やはり、子育て世代を中心に、新たに当区に住みたいと思えるような形を持っていかないとけないのかなということが課題かなと思います。

それで、その次のページですけども、課題解決に向けてどうしていくかということですけども、私、この西淀川区、2年前から区長をさせていただいております、結構いいところはいっぱいあるよねというところがあります。このいいところはアピールしていく、それにプラスして、今ないけども、今後、そこの部分を含めてアピールしていくことが大事かなと思ってございます。やはり、住んでおられる皆様にとって魅力のあるまち、それが新しい人も来ていただけることに繋がるかなということで3点選びました。

1つは、子どもを産んで育てるのに適したまちということで、これは、福駅の前に病院がありますけども、結構ここが分娩数は大阪府でトップです。年間2,600人の分娩数というのがありますので、素晴らしい病院があるなというところがございます。

それから、自然です。河川、海岸、緑道等というのに恵まれておると。そこにさらなる魅力づくりをしていきたいと思いますというところがございます。

それから、情報のところで、区内の子育て情報、これ、行政の情報だけでなく、いろんな情報をまとめたものを8月に立ち上げる予定でございます。そういうような形で、子どもを産み育てるのに適したまちというのが一つになれへんかなと。

それから、通勤、通学に便利なまちということで、これ、鉄道、道路というところへのアクセスは抜群やと。ここはもう皆さんも間違いのないかなというところですよ。

それと、もう一つ何かできへんのかなということで、西淀川区というのは公害を克服したまちでございますので、今度はマイナスのほうじゃなくて、プラスのほうに持

っていかれないかなと、環境への住民意識が高いというような形へ持っていけないかなと。これ、今年の3月に議論いただきまして、いろんなご意見、頂戴しましたので、ここの仕掛けというのをぜひやっていきたいなと思っているところでございます。

それから、その次のページでございますけども、企業におきましては、今までのものづくりのまち、西淀川ということは、これはこれでいいと思いますが、それだけでは、今後もう少しプラスしないといけないのかなと思ひまして、ここでもやっぱり環境に優しい西淀川ブランドということで、結構、環境にしっかり取り組む企業というのが評価される時代になってきましたので、やはり環境に優しいというところ、これも行政もお手伝いできるところはお手伝いして、その辺のPRをしていくというところが大事かなと思っています。

それと、もう一つは、まちの課題解決、魅力づくりについて、役所と共創に取り組む企業は多く存在するというところで、今いろんな形で仕掛けていますし、また、企業さんからも持ち込んでいただいています。キーワードとして出てくるのが、健康とそれから環境、クリーンというところですかね、というところのテーマが結構よく出てきておるようなところでございます。

そういうような形で、住民にとって魅力あるまち、それから魅力的な企業が集まるまちとして、これ、区内だけにアピールしていたのでは足りませんので、区外にも積極的にアピールするということを考えたいなと思っています。

これが、私どもが考えているところでございます。

それで、次のページからは、これはTEAM EXPO 2025で、先ほど多田委員がおっしゃってました共創チャレンジというプログラムあります。単に万博を見るだけじゃなくて、参加しようよというような感じでございます。これで、ぜひ西淀川グループとして、できるだけインパクトのある、できるだけ多くの提案をしていきたいなと。それで、西淀川区の存在意義というところを見せつけたいなと思っています。

それで、実際のところ、もう1企業さんは、区役所と組んでやりましょうというようなことで、手挙げる準備をしていただいているとございます。ぜひ皆様方におかれましても、2人以上の方でしたら提案できるという、1人は駄目ですけど、2人以上でしたらできるということがありますので、もし区役所と一緒にという方ありましたら、ぜひ皆さん、お声がけのほうをよろしくお願ひします。

どうもお時間いただきましてありがとうございました。

(拍手)

○西尾課長

ありがとうございました。

それでは、続きまして、資料5のグループ討議に戻りたいと思います。

それでは、先ほどのようなご提案も受けながら、皆さんでも何かご提案いただいたらなと思います。

各テーブルでグループ討議を始めていただきますけれども、議事進行役としてあらかじめ区役所からお願いしている方がおられると思います。ちょっと挙手いただいてもよろしいでしょうか。

その方にちょっと進行をお願いしておりますので、よろしくお願ひいたします。

まず、皆さんの中で、最後に発表いただきます。今、手を挙げた方でも結構ですし、別のどなたでも結構でございますが、誰か発表者をまず、この30秒から1分ぐらいで決めていただけますでしょうか。よろしくお願ひいたします。

(意見交換)

○西尾課長

よろしいでしょうか。

それでは、発表に移らせてもらいます。

大体1班、3分程度でお願いしたいのですが、まず1番に発表いただける班はございますでしょうか。

よろしく申し上げます。

(拍手)

○多田委員

ありがとうございます。

この班では、まず最初に、区制100周年に向けて、大きなテーマということで、やはり西淀川とは教育であろうと、子どもを一番に考えていると。子ども目線である、子どもを一番に考えるまち、子育てのまち、西淀川なんだと。これをテーマに、あくまでこの100周年をゴールにするのではなく、新たなスタートにしよう。次の100周年、考えていくような機会にしましょう。そのための装置に万博があるよみたいなことを話してきました。

一番最初の根幹のテーマで、例えば、じゃあ、場所的にどこを盛り上げていくのがいいかなといったら、例えば、矢倉緑地が出てきました。今も野鳥がすごい来ており、淀川の一番終点で、すごい記念碑的な土地ですけど、すごい今、アクセスが悪いと。アクセスが悪いですが、ちょうどこの辺に万博が来るんで、船でつなげて何かクルージングみたいな呼べたらええよねみたいな、花火大会もあるし。そういうところでアクセスをやりながら、こういう矢倉を盛り上げていこうよみたいなところ、場所的な意見ですね。

もう一つ、どういうふうに情報発信していくか。やはり子どもたちに西淀川の魅力っていうのをどう伝えていくかっていうところで、今も実際に西淀川区の歴史年表がプロジェクト進行中ということです。

ただ、これを作るだけじゃなくって、そこに例えば地域の仕組み、例えば地域活動協議会って何かとか、区社協って何をしているのとか、そういう地域はどうやって回ってるのみたいなことも併せて子どもたちに伝えていく。それを文字で、こういう資料で伝えるのではなくて、例えばそれを漫画版にするとか、漫画でよく分かる西淀川の歴史みたいな感じにして、子どもたちが読みやすいようにする、そして情報発信して

いくっていいのいいのではないか。

さらに、このテーマですけど、子どもに優しい、人に優しい、支え上手、支えられ上手ってということで、これがテーマですけど、例えばイベントをするのなら、例えば西淀川区の歌とかダンスを作ってみたらどうかとか、これを子どもたちに歌ってもらったらどうかみたいなことを話しました。

そんな感じで100周年を盛り上げていけたらいいなというようなことでした。以上です。

(拍手)

○西尾課長

ありがとうございました。

それでは、次の班はどちらでしょうか。

お願いします。

○吉田委員

よろしく願いいたします。

僕らの班では、日常の話3つと、それからイベントの話3つが出まして、日常の話でいうと、まず1つは交通事故を減らしたいなという意見、これは、やはり区制100周年に当たって、一番危険な箇所だけでもいいから、警察の方に本気になっていただいて、この危険な場所、変わったなって思えるぐらいの成果があれば区民の皆さんの意識っていうのも変わっていくっていうのを思いまして、2つ目は、公園の雑草がやはりまだまだ汚いよねということで、それはふだんから、イベントがあれば行政もすごい雑草刈りとかしてくれるけれども、イベントがなければそのまま、誰も担い手がいないという状態なので、イベントをもっと公園のほうでできないかという意見がありました。

それから、最後に防災の話ですけども、日常の防災の周知の話はどうしても、今すごい、多田委員が開催してくださった防災クラフトパークっていうすばらしいイベン

トがあるので、そのイベントをもっともっとこの100周年に合わせて活性化させていきたいというのがあって、そのためには、イベントに対する規制というのがまだまだ強いのではないかと考えており、防災クラフト、パークファンという制度の中でも、例えば利益をどこまで上げてはいけないとか、その内容に関係する以外のものは出しにくいとか、そういう制限がどうしても強いと思うので、もっともっと人を巻き込んで、いろんな人が参加してくれるイベントについては、100周年とか、そのテーマとかもすごく大事だと思いますが、テーマ以外の何か遊べる企画、その例がキッチンカーとか、夜店とか、遊べるイベントだと思うので、100周年とかそういう区切りに縛られず、いろんなイベント、遊べる機会があればいいなという意見があり、そのために、行政のルールがおかしいのなら、そのルールが変われるように何か区から提案できないのかとか、そういうルールの見直しというのもこの区からできないかというのが、僕らの班ではありました。

それから、100周年に関しては、例えば各公民館で各区の歴史を展示したりだとか、防災とか工場とか様々なテーマに分けて、パネルで展示したりとか、あるいはそれをゲーム感覚で進んでいけるようなイベントを、学校とかを巻き込んでできないかというイベントがあって、区制100周年というのを一つのきっかけにして、西淀で遊んだり、楽しんだり、そして地域のことを好きになってもらえる、それが一番だなというのが、僕らの班では挙がりました。

ありがとうございました。

(拍手)

○西尾課長

それでは、次、どこへ行きましょうか。

○西川（奈）委員

では、3番目のこちらの班の発表をさせていただきます。

たくさん意見が出ましたが、まずは、子どもがやはり住みやすいまちにということ

で、次世代を応援していくような仕組みが必要かなと。子ども会への予算協力とか、自然体験がもっとできるようにとか、公園をもっと整備して、安全、衛生面とかをもっと整えて、遊びやすいところをつくるとか、あとは、子育てしやすい、子育て拠点をもっと増やしていく。学校がさらに行きたくなる、楽しい学校になっていったらいなというような意見が出ました。

あとは、それらと関連しながらも、場所としても、みんなが集える場所をもっと整備していきたい。子どもと高齢者が一緒に遊ぶような機会をつくるとか、多田さんが防災の取組を言っていたいていましたけど、そういうものをもっと盛り上げていくということも意見が出ました。

それから、もっとアート・イベントへ力を入れていきたい。アーティストの卵が育つようなまちにしたい。それとか、大きなモニュメントを作成して、そこは撮影スポットになったりとか、外からも人が来てくれるような仕掛けを作っていく。

緑陰でキャンパーのイベント、アウトドアも今、はやっていますけども、そういうものしたらどうかとか、あとは、移動動物園、動物に触れ合えるような場所をつくるですね。

それから、あとは、イベント系でいうと、矢倉海岸、先ほども出ましたけど、もっと活用したいなということで、一度やりかけていました、気球上げをぜひともやりたいなというような意見があったり、夜空にみんなで手作りのランタンを上げて飛ばしていくという意見も出ました。

緑陰を、そして、もっと活用したいということで、イベントとも関連しますが、食フェスみたいなことができないとか、あとは宝探しですね、脱出ゲームとかと似ているかもしれないですけど、ドングリを活用したり、イルミネーションを御堂筋のイルミと一緒に同時点灯したらどうかとかですね。あとは、スケボーパークを造ったら盛り上がるのではないかなど、いろいろ出ました。

面白かったのは、緑陰道路、信号のない道路なので、そこをずっと人で手をつない

で、ギネス記録に挑戦したらどうやっていうような意見も出ました。

あとは、水上交通、先ほども出ましたけど、大阪は水のまちということで、ぜひこの万博を機に、西淀からそういう水上交通も盛り上げていって、今後も使えるような水の道をつくったらどうかなというような話もありました。

最後に、万博に西淀川100周年ののろしも一緒に上げたらどうかなという意見もありました。そんな感じでした。

(拍手)

○西尾課長

それでは、最後のチーム、お願いいたします。

○吉見委員

吉見です。ここのテーブルでは、西淀川区には緑陰道路などをはじめ、緑がいっぱいあって、すてきな場所がいっぱいありますので、今あるものを生かして盛り上げていきたいなという話が出ました。ただ、緑は多いのですが、鬱蒼としている場所も多いので、いろいろと整備が必要だと。そういった整備をしていくことで、高齢者であったり、お子様が安全に住めるまちにしていきたいな話が出ています。

また、今あるところというところで、空いているスペースを生かして、住民参加型の地域の畑をしてみて、食育などを通じて、若い世代へのアプローチができるのではないかと。そういった若い世代のアプローチを、ふだんからの交流の場所としてつくっておくことで世代間交流の場所ができて、年に数回やる祭りへの参加をいろんな方に促すことができるのではないかとということで、いろいろ話が出ました。

面白かったのが、大阪市内には道の駅がないとお聞きしていましたが、市内初の道の駅というものを西淀川区でできれば、先ほどお話にあったように、西淀川ブランドをこういった道の駅で販売したり、展示をしたりすることで、より多くの方に西淀川区にこんな魅力あるよというところが発信できるのではないかなという話が出ました。以上です。

(拍手)

○西尾課長

ありがとうございました。

皆さん、ご意見ありがとうございました。

それでは、議長にマイクをお渡したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○大垣議長

いい意見が出たと思います。ありがとうございました。

では、続きまして、議題の3ということで、その他に移ります。

事務局から説明、よろしくお願いいたします。

○西尾課長

ありがとうございます。

皆さん、盛り上がりましたが、その結果につきましては、また区役所の中でも十分協議をさせていただいて、できることからやらせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、ちょっと議事に戻って申し訳ございません。資料6でございます。大野川緑陰道路と区政推進基金の活用ということで、これは事前資料にもお送りさせていただいております。そして、昨年度、皆さんのグループ討議のご意見をいただきまして、憩いのスペースの整備とイベントの活用ということ今年度やっていこうと思っています。3月の区政会議で申し上げたように、修成建設専門学校さんと共創しながら、今、来年1月を目標に、いろいろとこれは規制の部分とか、いろんな課題がございますけれども、何とか乗り越えさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それで、一番下のほうで、令和5年度以降ということで、今、令和3年度、昨年度に160万円ほどの寄附が集まっております。まだまだ寄附も集めておりますので、皆さんのご協力、もしくはお知り合いでもお声がけいただけたらありがたいなと思って

いますので、よろしくお願ひいたします。

この件につきましては、以上でございます。

○大垣議長

ありがとうございます。

ただいまの説明で、ご意見またはご質問ありましたら、どうぞよろしくお願ひします。

それでは、すみませんけども、それでは、出席いただいております区選出の市会・府会議員の先生方で、これに対していろいろな意見のほうをよろしくお願ひいたします。

五十音順にやらさせていただきます。

まず初めに、市会議員の荒木議員からお願ひします。

○荒木議員

どうも皆さん、こんばんは。大阪市会の荒木でございます。

今日、100周年に向かってということで、皆さん方にご討議をいただいて、特に若い方の発想に、非常に感動しました、本当に。今この西淀川区でない、我々みたいな年寄りが持っていない発想を本当に発表していただいて、これを実現していくと、3年後でございますけれども、すばらしい西淀川区に育っていくのではないのかなというように思っております。特に子どもたちに魅力ある区を発信していきたいということとか、人に優しい区にしていくとか、これは非常にもう大事なことでありますし、また、この漫画で伝えるとか、なかなかこういう発想は我々には出てこない発想であるというように思います。

そして、もう一つ、それをするには行政のいろんな縛りがあるから、このルール見直そうやないかというのも本当にすばらしいことだと思います。しっかり、我々も、そういった点で力を入れていきたいと思ひます。

そして、また、子どもたちがとにかく住みやすいまちということで、確かに子ども

はまちの宝でございますから、やはりしっかりと育て上げていくことで、この西淀川区というのは大いに盛り上がっていくのではないのかなと。アーティストを育てる、そして矢倉海岸、この気球を上げる。これ一つ予定がありましたけれども、結局できずじまいで終わっているのです、これを一つ、本当に気球でも上げていただいて、大いに盛り上がっていただきたいなと思っております。

そして、また、いろいろと皆さん方の意見の中に緑陰道路、今あるものを利用して、そしてそれを、どう言いますか、活性化していくという、こういったことも言われておりました。イルミネーションもそうであります。こういった新しい皆様方の発想が、この西淀川区を大きくこれからも変えていく力になっているというように思いますので、今日は本当にいいお話を聞かせていただきまして、私たちも大阪市会の中で今日聞いたことを我々でも議論をしていきたいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

(拍手)

○大垣議長

ありがとうございました。

続きまして、山田議員さん、よろしく申し上げます。

○山田議員

お疲れさまでございます。市会議員の山田はじめでございます。

あらかた、荒木先生からいい話ししていただいたので、もうなかなか、私から何言わせてもらおうかなと思いつながらお聞きをしていたところですが、まさに今回、ちょうど100周年記念に向けてということで、西淀川区をこんなまちにしたい、これからこんなことをしていきたいという、そういうテーマで、グループ討議という中で2つ、今、荒木先生からもご指摘があったとおり、今の西淀川の資源であるとか、いいところをもっとより発展していったり生かしていこうというような、そういうような考え方のご意見と、それから、何か100周年ということで、一つの区切りとしてモニュメン

トを造ったりというようなイベント的な、区切りの節目としてのというような、両方の考え方が出てきていたように受け止めているところです。

区でよくしていくというのは、常に100周年じゃなくてもやっていかないといけない、やっていってほしいという思いも皆さんお持ちでしょうし、今回100周年やから、どっちかというと何かやっぱり記念のイベント的なもの、あるいは何か形に残るものっていうことが具体的にできると、そういうことが出てくるようにも思うところですけど、まさに、私、西淀川に来る前は茨木市にもちょっと長く住んでいたことがあります、阪急の南茨木駅っていうのがありますがね、京都線の。その駅の前にヤノベケンジさんっていう方の何か、どういったらいいでしょう、新しい大阪市の美術館にも似たような像が立っていますけど、それが、あの辺の南茨木の人なりに聞いたら、なじんでいいなって言う人と、唐突感が若干あるのではみたいな、そういうようなご意見もあったように記憶しているのですが、実際そういうことになったら、皆さんから愛されるものになるといいなというのも、そんなことも感じながらお聞かせいただいたところでございます。以上でございます。

(拍手)

○大垣議長

ありがとうございました。

続きまして、府議会議員の中川議員さん、お願いします。

○中川議員

中川誠太です。

ちょっと話も長くなってしまうのも恐縮ですので、端的にお話しさせていただきますと、大野川緑陰道路は本当に西淀川区にとって必要不可欠であって、3.8キロある長さもありますので、ここをしっかりと活用していくというのは非常に大事なことのかなと思っております。ぜひとも大野川緑陰道路、滋賀県に、前回も言いましたが、草津川跡地公園というのが、本当に大野川緑陰道路のところに似たようなところ

があり、カフェなどができたり、そういった魅力発信をしている状況でもありました。それを参考にしながら、西淀川区にできることをしっかりと進めていっていただきたいなと思っております。

また、防災の話も非常に多かったですので、この西淀川区の皆さんというのは本当に、防災に対する意識というのは非常にほかの区に比べて圧倒的に高い地域だなと改めて感心させていただいております。

私の事務所の前にも、防災マップ、黄色い新しい大きいやつを置かせていただいています。僕のチラシより一番なくなるのは防災マップです。それほど意識が強い人が多いなと思っておりますので、本当に西淀川区が盛り上がっていくために、いろんな意見を勘案しながら、今日みたいな最高のいい話をさせていただいて、聞かせていただいておりますので、こういった話を区民の、いわゆる9万8,000人、9万9,000人近くおるほとんどの方が、一部の人しか知らない状況ですので、幅広い人たちに、こういったやっぱりすごい西淀川区の魅力を発信するために考えていただいているアイデアを発信していただきたいなとは思っております。

とにかく緑陰道路が魅力発信になるように、盛り上がっていただきたいと思っておりますので、どうぞこれからもよろしく願いいたします。ありがとうございました。

(拍手)

○大垣議長

ありがとうございました。

本当に議員の先生方、ありがとうございました。これからもまたよろしく願いいたします。

それでは、最後に、区長から、本日の会議に関しての総括のコメントをお願いいたします。

○中島区長

どうも皆さん、ご議論ありがとうございました。貴重なご意見聞けましたし、おっ

という、面白いなというアイデアも非常にたくさんあったかなと思っています。これは100周年のときにやるのではなくて、今からできることは早速、今からやっていきたいなと思っていますので、よろしくをお願いします。

それと、今日の会議は非常に有意義だったかと思いますが、ぜひ、皆さん、ご意見ありましたら、区役所にメールでも、どんな形でも結構でございますので、全体の受付は、西尾がおります政策共創課に送っていただきましたら、区役所内部、全部つながるようにしてしますので、ぜひ皆さんの貴重なご意見ですね、区役所に来ていただいても結構ですし、メールでも結構ですし、どんな形でも結構ですんで、ぜひまたご意見を頂戴したいなと思いますし、こんなことで、打ち合わせしたい、もっともっと話をしたいということがありましたら、それも大歓迎でございますので、ぜひお願いしたいなと思うところがございます。個人でも結構ですし、団体でも結構です。企業でも、どんな形でも結構でございます。

また、それから、今日せっかく議論いただきましたこと、ここだけにとどめておくのはもったいないことでございますので、この辺のところをうまくやっぱり区民さんに、こういう議論が行われたというところ、この辺をぜひ情報発信していきたいと思っています。情報発信することによって、共感できる人、これをどんどん巻き込んでいけるのかなと。やっぱりいかに人を巻き込んでいくかということが大切かなというように感じておるところでございます。

それから、もう一つ、皆様にいい知らせというか、なんですけれども、区政推進基金ですけれども、昨年度、初めて100万台を超えました。今まで30万円ぐらいが最高だったのですが、去年が160万。それで、今年度ですけれども、4月から、4、5、6、7と4か月なんですけれども、既に400万を超えています。結構、皆さんも共感いただいて、こんなことやったら区政推進基金、出すよという方が非常に増えてきていただいたかなと、非常にありがたいことやと思っています。

皆さんの知恵を借りながら、ぜひ西淀川区、皆さんとともにもっともっとすばらし

いまちにしていきたいと思っていますので、今後とも皆様方のご協力、ご支援のほど、よろしく申し上げます。本日は、どうも皆様方、ありがとうございました。

(拍手)

○大垣議長

ありがとうございました。

この100周年に向けてですけど、今はこういうふうな形でさせていただいておりますけども、100周年の実行委員会も立ち上げてまいっておりますので、3年先ですけどね、これから前へ進めていって、今日のこういうような形のやつをまたアイデア出していってくれると思いますので、よろしく願いいたします。

○西尾課長

それでは、事務局から、すみません。一つ、ピンクの用紙、皆さん見ていただいていると思いますが、マイナンバーカード、区役所としてはぜひとも皆さんに勧めていますので、皆さんやご家族、お知り合いにも勧めていただけたらありがたいなと思っております。ポイントもいただけますので、よろしく願いいたします。

それと、あと、次第に書かせていただいておりますけども、次回の区政会議ですけれども、9月29日の木曜日を予定しておりますので、ぜひとも今の間にご予定いただいて、手帳にでもお書きいただいたらありがたいなと思っております。よろしく願いいたします。

それでは、最後、副議長、よろしく申し上げます。

○香川副議長

失礼いたします。皆様、本当にありがとうございました。滞りなく議事が進行いたしました。お礼を申し上げます。

私から一言コメントをさせていただきたいと思っておりますけれども、この本日のグループワーク、とってもよかったと思っております。普通でしたら、お一人お一人のご意見をあまり聞くことができなくて、限られた方だけということですけども、私、ちょっと

要らんことを言いまして、先日に100周年の区の実行委員会が立ち上がりましたと申し上げましたら、そしたら、それはすばらしい、一緒にいろんなことをさせていただきたい。それは一つ、西淀川区の歴史というか、その年表的なことをなかなか見ることができないと言われた方がおられまして、じゃあ、それでしたら、私たち、今、これから年表を作りますのでと言ったら、そしたら、そこにまたお一人の方が、すごく才能のおありの方で、子どもたちにまずお渡しするのに漫画で描こうじゃないかとかという提案もいただきまして、本当に次から次と話、話題が広がっていくということで、まず子どもを頂点に置いて、それから、子どもが喜ばば大人たちもうれしいという、そういうふうな西淀川にしていこうじゃないかっていうことでお話がまとまったのですけれども、本当にすばらしいご意見等をいただきまして、本当にありがとうございます。

本日は本当にすばらしい、いい区政会議だったと思います。本当にありがとうございます。次回の9月29日木曜日、どうぞまたご出席いただけますようによろしく願います。

本日はどうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

○大垣議長

お疲れさまでした。

(拍手)

—了—